

令和5年度 東京都立小平高等学校経営報告

東京都立小平高等学校長
渋谷 寿朗

目指す学校		規律ある学校生活の中で、教養主義に基づいて、様々な学習活動に取組ませることで、将来、職業を通して国際社会においても貢献できるグローバルな視野をもつ人材を育成する。また、学校行事や部活動等の取組を通して、リーダーシップの育成と協働意識や共感性の涵養に努める。		「自主」「Independence」「誠実」「Sincerity」「英知」「Intelligence」の校訓のもと、○国際理解教育を推進し、国際社会に貢献できる生徒を育てる。○論理的、実践的な英語力を伸長させる。○思いやりの心と高い規範意識をもち、自他を尊重し、共に助け合える生徒を育てる。○地域から信頼され、地域社会に根ざした学校としていく。○生徒の生命・健康を何よりも優先し、生徒一人一人を本当に大切にしていると生徒・保護者が実感できる教育活動を行う。○生徒の進路希望の実現を学校全体で支援し、その実現を図ることで生徒・保護者に喜んでもらえる学校としていく。			
中期的目標と方策	(1) 生徒の高い進路希望を実現するため、国公立大学現役合格者10名以上、最難関私立大学（早慶上智理科）現役合格者数10名以上、難関私立大学（GMARCH レベル）現役合格者数120名以上を数値目標として進学指導に取り組む。 (2) GE-NET20 指定校として、国際理解教育の推進と質の高い英語の授業を柱とし、あらゆる教科で多角的な考え方を養い、言語能力・論理的思考力・コミュニケーション能力を育成する。 (3) 国際交流リーディング校及び海外学校間交流推進校として、様々な国際交流等を通して、日本人としての自覚と誇り及び豊かな国際感覚を育成する。 (4) 新教育課程検討委員会において、令和4年度から年次進んで実施する新学習指導要領における教育課程を編成する。 (5) 全教員が生徒の実態に対応した授業を実践するとともに、生徒の主体性を伸ばす部活動活性化に関わり、学習と部活動等を高いレベルで両立させる。 (6) デジタル環境整備を推進して、通常の授業中を含めて教師と生徒が同時に参加できる学習の場を、学習支援クラウドサービス等を活用することで構築するとともに、遠隔学習支援による家庭学習の充実や学習時間の確保を図る。 (7) 学校生活の中でルールやマナーを重んじ、規律ある生活習慣のための生活指導を行い、自主性、社会性、責任感、思いやり、協働の精神、リーダーとしての資質能力を育成する。 (8) 三年間とその先を見通したキャリア教育、土曜講習や長期休業中の補習・講習、英語外部検定等を通して生徒の学習意欲を向上させ、より高い進路目標の実現を図る。 (9) 図書館の活用、自習スペースの充実、習熟度別少人数指導の充実、学習到達目標の設定、教員相互の授業参観や校内研修を推進することにより、教育環境・条件を整備していく。 (10) 近隣小中学校をはじめとする地域諸機関と積極的に連携して、文化的行事、学校開放を行い、社会貢献活動等を通して生徒の健全育成を図る。 (11) WEB サイト、中学校・私塾訪問等を通して本校を志望する受験生の開拓と募集活動に取り組む。 (12) スクールカウンセラーの協力を得て、生徒の生命に関わる事故を未然に防止するとともに、校内特別支援教育推進体制を整備し、発達障害など様々な配慮の必要な生徒に対する理解と対応を図る。また、必要に応じて、YSW 等外部との連携を推進する。 (13) 経営企画室職員との連携体制を構築、教育活動への参画を強化し、教育活動に合わせた適正な予算執行と施設・設備の保守改善に努める。 (14) 学校閉庁日等を適切に設定するとともに、ペーパーレス化等による会議時間短縮等の取組を推進して、教職員の意識改革を図りながら、働き方改革を推進する。						
今年度の取り組みと方策	1 学習指導 ・教養主義、すべての教科でグローバル教育を推進、多角的な視野からの様々な物の見方や考え方の習得、言語能力の向上、論理的思考力、国際社会に貢献できる資質・能力の育成。 ・デジタル技術を十分に活用して、生徒・教員間あるいは生徒間の対話の機会を充実させ、自主的に考え、表現できる授業を実践。 ・DXを活用した土曜講習及び長期休業日中の補習・講習実施による学習時間の確保。 ・学力スタンダードに基づく週ごとの指導計画、シラバス、校内研修・教科会等の取組による明確な目標設定と授業の質的向上。	2 進路指導 1年：バランスの取れた学習一貫したキャリア教育の実践。総合的な探究の時間の活用。進路講演会、進路適性検査の実施。 2年：目指す進路の明確化。進路講演会、大学説明会の実施。見学会、模擬授業参加。合格者座談会の実施。 3年：進路実現。進路情報提供、個別指導実施。模擬試験の分析会→教科会→授業等でのフィードバック指導。個別受験検討会開催に向けた検討。	3 生活指導 ・ルール、マナー指導、身だしなみ指導。 ・挨拶の励行、時間を守る指導：遅刻防止指導、授業時チャイム開始、集会時の集合、部活動後等の下校指導、校則の見直し。 ・安全教育：薬物乱用防止やハイテク犯罪等防止のためのセーフティ教室実施、登下校時の自転車の安全乗車指導（ヘルメット着用、アプリ活用によるルール・マナーの徹底）、年4回の避難訓練実施、SNS 利用時のマナー・ルールの徹底。	4 特別活動・部活動 ・学校行事に主体的に関わる指導。向上心と達成感獲得につなげる部活動の活性化。学習を途切れさせない、効率的かつ計画的な活動。 ・国際理解教育推進。グローバル人材の育成を目指した国際理解授業、国際交流活動、留学生受入、留学希望生徒への情報提供、海外修学旅行の実施。＜GE-NET20 指定校、国際交流リーディング校、海外学校間交流推進校＞	5 募集対策・広報活動 ・より高い目標に向かって自己管理できる生徒を獲得するための情報発信。 ・学校見学会、学校説明会、個別相談会の充実。学校説明会での効果的な演出方法の検討。WEB サイトの定期的更新と充実。中学校や私塾での広報活動の充実。	6 安全・健康・地域連携 ・生徒の体力向上への取組、心身の健康に組織的に取り組むための保健室機能の強化、COVID-19 対策の徹底、スクールカウンセラーの活用と外機関との連携。 ・特別支援教育委員会による発達障害等の生徒に対する教育環境整備と学校生活での指導及び支援。 ・体罰や不適切な指導の禁止、根絶に向けた全校的な取組の強化。 ・環境教育の推進、清潔で明るい学校環境の維持。 ・地域関係諸機関との積極的連携。	7 学校運営・組織 ・企画調整会議を柱とした方向性を共有した学校運営の実現及び教育課程の実施、検証、改善。 ・個人情報の適正管理を徹底するための執務環境整備、DXの推進、学校 ICT の効率的運用体制の維持発展。 ・節電の継続実施。経営目標を見据えた学校予算の編成と執行等経営企画室による経営参画。 ・教職員一人ひとりが業務の効率化を意識したライフ・ワーク・バランスの整備。
数値目標等	・教員相互授業参観2回（0回） ・若手教科研究授業年3回（1回） ・GE-NET20に係る公開授業及び校内研修1回（1回） ・講習・補習35講座2,000名（28講座/1,246名） ・学習時間調査「学年＋1時間」平日達成率1～2年30%（23%）3年75%（67.2%） ・学習時間平均平日120分（92分）休日180分（154分） ・英検2級以上合格者200名（228名） ※（ ）内は令和4年度実績	・模試実施及び結果分析指導年間5回（5回） ・学年進路指導1年3回（3回）2年5回（5回）3年7回（7回） ・国公立大学・難関・GMARCH レベル私立大学等合格者数140名（185名） ・センター試験出願者数93%（93% 247名） ・卒業進路決定率 93%（92%）	・生活習慣の確立1年皆勤200名（200名）3年皆勤20名（55名） ・特別指導件数0件（1件） ・校門指導、下校指導継続 ・制服、身だしなみ指導継続 ・時間を守る指導 ・避難訓練年4回実施	・部活動加入率1年100%（100%）2、3年90%（95%） ・生徒主体の学校行事の実施 ・生徒の学校満足度85%（77%） ・保護者の学校満足度90%（87%）	・ホームページ更新300回（330回） ・学校説明会来場者合計4,000名（6,068名） ・一次応募倍率普1.5倍/外1.5倍（普1.35倍/外1.52倍）	・生徒の心身の健康に組織的に取り組むための保健室機能の強化 ・COVID-19 対策の徹底 ・スクールカウンセラーの活用と外機関との連携 ・特別支援教育委員会による発達障害等の生徒に対する教育環境整備と学校生活での指導及び支援 ・体罰や不適切な指導の禁止、根絶に向けた全校的な取組の強化 ・環境教育の推進、清潔で明るい学校環境の維持 ・地域関係諸機関との積極的連携	・方向性を共有した学校運営の実現 ・教育課程の実施、検証、改善 ・執務環境整備 ・学校 ICT の効率的運用体制の維持発展 ・節電の継続実施 ・経営目標を見据えた学校予算の編成と執行等経営企画室による経営参画 ・部活動指導員の活用15名（15名） ・男性教職員の育業等取得1名（1名）

成果と課題	×● 教員相互授業参観0回 (0回) ◎ 若手教科研究授業年6回 (1回) ○ GE-NET20 に係る公開授業及び校内研修1回 (1回) × 講習・補習 38 講座/1,091 名 (28 講座/1,246 名) ×● 学習時間調査「学年＋1 時間」平日達成率1～2 年11% (23%) 3 年62.6% (67.2%) ◎ 学習時間平均平日 123 分 (92 分) 休日168 分 (154 分) ◎ 英検 2 級以上合格者 357 名 (228 名) ※()内は令和4 年度実績	○ 模試実施及び結果分析指導年間5 回 (5回) ○ 学年進路指導 ○ 1 年3 回 (3回) ○ 2 年5 回 (5回) ○ 3 年7 回 (7回) ◎ 国公立大学・難関・GMARCH レベル私立大学等合格者数 241 名 (185 名) ○ センター試験出願者数96% 268 名(93% 247 名) ○ 卒業時進路決定率 92%(92%)	◎ 生活習慣の確立 × 1 年皆勤136 名(200 名) ◎ 3 年皆勤 38 名(55 名) ×● 特別指導件数件3 件(1 件) ○ 校門指導、下校指導継続 ○ 制服、身だしなみ指導継続 ○ 時間を守る指導 ○ 避難訓練年4 回実施	○ 部活動加入率 ○ 1 年95% (100%) ◎ 2、3 年95% (95%) ○ 生徒主体の学校行事の実施 × 生徒の学校満足度 79% (77%) △ 保護者の学校満足度 88% (87%) ※令和5 年度入学生から部活動への参加を任意とした。	×● ホームページ更新198 回(330 回) ◎ 学校説明会来場者合計 6,137 名 (6,068 名) × 普 ◎ 外 一次応募倍率 普 1.40 倍/外 1.84 倍 (普1.35 倍/外1.52 倍)	○ 生徒の心身の健康に組織的に取り組むための保健室機能の強化 × COVID-19 対策の徹底 ◎ スクールカウンセラーの活用と外機関との連携 ◎ 特別支援教育委員会による発達障害等の生徒に対する教育環境整備と学校生活での指導及び支援 △ 体罰や不適切な指導の禁止、根絶に向けた全校的な取組の強化 △ 環境教育の推進、清潔で明るい学校環境の維持 △ 地域関係諸機関との積極的連携	○ 方向性を共有した学校運営の実現 ○ 教育課程の実施、検証、改善 △ 執務環境整備 ○ 学校 ICT の効率的運用体制の維持発展 ○ 節電の継続実施 ◎ 経営目標を見据えた学校予算の編成と執行等経営企画室による経営参画 ◎ 部活動指導員の活用 15 名 (15 名) ◎男性教職員の育業等取得3 名 (1 名)
--------------	---	---	---	---	--	--	--

◎目標を大幅に上回った／極めて優れた成果である ○目標を達成した／良好な成果である △目標には届かないが水準を達成した ×目標を達成できなかった ●今後に向けての課題設定